

栄 さかえ小 ニュースレター

4年生 環境学習～金田台の自然を学ぶ～

2月6日（木）に、4年生の子供たちが環境学習を行いました。今回は、栄小学校の学区内にある金田台地区の自然環境について学ぶため、「金田台の生態系を守る会」の後藤さんと、現在、ミュージアムパーク茨城県自然博物館にお勤めの久松前校長先生をゲストティーチャーにお迎えしました。

授業の前半では、金田台地区の特徴や自然環境について、スライドや写真を交えながら詳しく話をうかがいました。その中で金田台が奈良・平安時代の官衙（かんが）遺跡が残る歴史ある場所で、昔から人々が暮らし、自然と共に生きてきた地域であることや、現在も豊かな森が広がり、オオタカやフクロウといった猛禽類を含む、たくさんの生き物が生息していることなどを知ることができました。また、この豊かな自然を守るためには、人の手による適切な管理が必要で、「金田台の生態系を守る会」の人たちが定期的に竹林整備などを行っていることで金田台の美しい自然が維持されていることを知り、驚きとともに興味を持って話を聞いていました。

後半は、実際に竹林整備の際に間伐された竹を活用した「ぶんぶんゴマ」作りに挑戦しました。短冊状に切られた竹に穴を開け、ひもを通して回すことで音が鳴るおもちゃです。子供たちは、きりを使って竹に穴をあけ、そこにひもを通して、自分だけのぶんぶんゴマを完成させました。完成したぶんぶんゴマを回してみると、勢いよく回転しながら「ブーン」という音を立て、子供たちは大喜びでした。

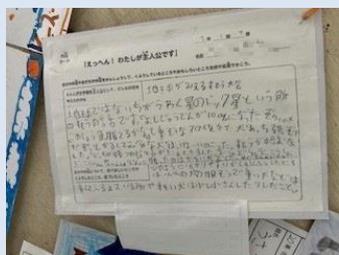
今回の環境学習を通して、子供たちは金田台の自然を身近に感じるとともに、人の手による環境保全の大切さを学ぶことができました。また、竹を使った工作を体験することで、自然の恵みを無駄なく活用することの意義についても考える機会となりました。この学びを今後の生活にも生かして欲しいと思います。



授業の1コマ



5年生の理科では、電磁石キットの組立てに取り組んでいました。しかし、最近の子供たちは模型などを作る機会が少ないためか、設計図の読み取りにかなり苦戦しているようでした。



3年生の図工では、ある作家の絵に描かれているたくさんの動物の中から、好きな動物を選び、それを主人公にした空想画を描いたようです。子供たちの想像力は本当に豊かです。



1年生は、豆まきを行いました。環境に配慮し、豆が手作りなのが良かったです！一人一人が描いた個性的な鬼めがけて、邪気を払うことができました。今年一年健康でありますように！